

I 学園づくりの目標

個性派私学の雄、未来型学園のモデル校、地域文化の創造拠点をめざし、活力あふれる学園づくりを推進する。

II 平成19年度の重点目標

創立以来60年を閲した本法人は、新たな幕開けの時を迎えた。今年度は初心にかえり、総力を結集して弛まぬ飛翔を始める時である。

- 1 輝く個性と総合的教育体制の確立
 - i 幼稚園から大学院までが独自のブランドを創出し、個性輝く学風を培う。
 - ii 相互に連携を密にして改善を加え、新たな「学院文化」の創造に取り組む。
- 2 地域社会との連携、地域社会への貢献
- 3 カレッジ・スポーツの更なる振興と文化の創造
- 4 地域社会の豊かさと活力につながる生涯学習事業の展開
- 5 高度情報化による教育システム（学生支援・教育支援等）の充実
- 6 学術交流の促進と国際理解教育の推進

III 各教育機関の重点推進事項

- 1 大学院
 - 社会科学部研究科
 - ① 大学院のあり方についての検討
 - ② 研究・教育、指導等のシステム・方法の一層の工夫と充実
 - ③ 大学院生用施設・設備等の整備充実
 - ④ 地元自治体等との連携の推進
 - ⑤ 大学院の広報戦略の推進
 - 法務研究科
 - ① 第2期法科大学院づくりとそこでの教育指導の充実
 - ② F D活動の推進による自己点検・評価の進展
 - ③ 山梨県弁護士会を始め県内法曹との連携
 - ④ 院生の学力とニーズに合わせたカリキュラム外教育指導の拡充
 - ⑤ 臨床教育の充実と法律相談事業による地域への還元

- 2 大学
 - ① 目的にあった質の高い授業の提供と「学生一人ひとりを対象とした教育」の強化
 - ② 公務員試験・各種資格試験・法科大学院進学試験への対策強化
 - ③ 学術研究の推進と研究成果の公表
 - ④ 産学官連携の強化及びコンソーシアムの推進
 - ⑤ 第三者評価への全学的な取組み
 - ⑥ 学部学科ホームページの内容充実と教育研究内容の社会的還元
- 3 短期大学
 - ① 専門職養成の更なる充実に向けた取組み
 - ② 高大連携の実効的取組み
 - ③ 学生満足度の向上
 - ④ 特色ある教養教育の充実
- 4 附属高等学校
 - ① 文部科学省SELHI指定研究の推進
 - ② 高・大連携への取組み
 - ③ ハイスchoolスポーツと文化活動の振興
 - ④ ボランティア精神の涵養と実践
 - ⑤ 国際交流、国際理解教育の充実、強化
- 5 附属中学校
 - ① 中高一貫カリキュラムの充実
 - ② 個性の伸長と個別指導の充実
 - ③ ボランティア活動の推進
 - ④ 国際理解教育の推進
 - ⑤ 小・中連携への取組み
- 6 附属小学校
 - ① 自ら考え育つ授業の創造
 - ② 文部科学省研究開発学校としての教育開発（2年目）
 - ③ 学習カリキュラムセンターにおける教育研究の推進
 - ④ 幼小連携・小中連携の充実
- 7 附属幼稚園
 - ① 総合的保育活動の充実・発展
 - ② 直接体験活動の充実・拡大
 - ③ 子育て支援センターの発展的運営
 - ④ 教職員研修の充実